

別表 2 点検項目一覧

機器名	項番	点検項目	内容
検出部	1	外観構造検査	装置本体及び構成機器の目視による点検、清掃、ネジの増締め
	2	点検前設定値確認	各設定値の確認
	3	点検前測定値検査	点検前の BG 値の確認
	4	点検前ゲイン確認検査	検出器に Cs-137 を照射して、Cs-137 ピーク (662keV) を確認
	5	点検前線源校正検査	国家標準とのトレーサビリティが得られている方法で、指示線量率誤差 $\pm 10\%$ 以内 (Cs-137 基準、BG $\sim 10 \mu\text{Gy/h}$) であることを確認
	6	電源電圧測定検査	各電源の電圧をデジタルマルチメータにて測定
	7	温度制御機器検査	温度スイッチの動作温度設定値を手動で変更し、ファン、ヒーターの動作を確認 ※点検後は、元の設定値に戻す
	8	ゲイン調整検査	検出器に Cs-137 を照射して、Cs-137 ピーク (662keV) を 132CH に調整する
	9	分解能検査	検出器に Cs-137 を照射して、分解能を確認 分解能 = (半値幅 $\div$ ピーク CH) $\times 100\%$
	10	点検後測定値検査	点検前の BG 値の確認
	11	点検後線源校正検査	国家標準とのトレーサビリティが得られている方法で、指示線量率誤差 $\pm 10\%$ 以内 (Cs-137 基準、BG $\sim 10 \mu\text{Gy/h}$) であることを確認
	12	点検後設定値確認	各設定値の確認
測定部	1	外観構造検査	装置本体及び構成機器の目視による点検、清掃、ネジの増締め
	2	供給電源電圧測定検査	各電源の電圧を確認
	3	制御プロセッサ動作確認	制御プロセッサの電源、ALARM ランプの目視確認
	4	データ通信機能検査	検出部及び上位サーバーと通信されていること。上位サーバーへデータが伝送されていること。
	5	データ保存機能検査	CF カードの保存データの確認